

7 児童生徒心得

海津特別支援学校の児童生徒としての自覚と誇りを常にもち、勉学に励み、基本的な生活の習慣を身に付け、健康で安全な生活に努める。

1 礼儀

- (1) 児童生徒・職員に対しては、互いに親しく挨拶を交わす。
- (2) 来客に対しては、挨拶や会釈をするなど、礼を失することのないよう心がける。
- (3) 学校内外いずれの場合でも、正しい言葉遣いに心がける。

2 服装規定

服装は、端正で活動し易く清潔であるよう心がける。

本校児童生徒の服装は、次のとおりとする。

		小学部		中学部・高等部
通 学 服	冬	特に規定しない	A タイプ	学校推奨服（学生服）が望ましい
			B タイプ	学校推奨服（紺色のブレザー、指定柄のスカート又は紺色のキュロット及び紺色のスラックス）が望ましい
	夏	防寒着 ① 冬季に限り、セーター・カーディガンを通学服上着の下に着用することを認める。 ② コート類の着用を認める。 ③ マフラーの着用を認める。		
		特に規定しない	A タイプ	学校推奨服（黒ズボン、白カッターシャツ又は白ポロシャツ）が望ましい
運 動 服	冬	規定服		
	夏	ズボン…規定服（冬と同一か規定のハーフパンツ、又は短パン） シャツ…規定服（半そで白色）		
		帽子	赤白運動帽子	白色運動帽子が望ましい
作 業 服	冬	規定服（襟付きジャケット・ズボン）、白色シャツ、白色帽子		
	夏	規定服（襟付きジャケット・ズボン）、白色シャツ、白色帽子		
靴	◎下靴…白色が望ましい ◎上靴…シューズが望ましい			
名 札	通学服	通学服の裏等に刺繍もしくはマジック等で名前を入れる		
	運動服	左胸、左腰表に刺繍で名前を入れる		
かばん	特に規定しない			

3 登下校について

- (1) 登校時は、8時40分までに学校に到着する。
- (2) 下校のスクールバスは、15時30分に学校を出発する。
- (3) 自力で通学する場合は、届け出た通学路を利用する。
- (4) 自転車通学については、中学部・高等部の生徒とし、校長の許可を得る。

4 校内の生活について

- (1) 欠席・遅刻・早退については、事前に学校へ連絡する。
- (2) 登校後は、無断で校外に出ない。
- (3) 学校に不必要な物品を持ってこない。
- (4) 貴重品や携帯電話は、登校時に担任に預け、下校時に受け取る。

5 校外の生活について

- (1) 海津特別支援学校の児童生徒としての自覚と誇りを持ち、社会のルールやマナーを守り他人に迷惑をかけない。
- (2) 自他の生命の安全に心がけ、交通ルールや交通道德・マナーを守る。
- (3) 健全な交友関係を心がける。
- (4) 無断でのアルバイトは禁止する。アルバイトを希望する場合は必ず校長の許可を得る。

6 自動車学校入校に関する規定

(1) 基本方針

障がいのある生徒の社会自立に向けて、普通自動車免許を取得するための自動車学校への入校を総合的に判断して認める。また、運転免許が取得できるよう支援する。

(2) 入校対象の生徒

高等部全日制の課程3年生で、就職先の内定通知、及び進学先の合格通知を受けた生徒。希望する場合は、校長の許可を得る。

(3) 入校の心得

①学校生活を優先し、常に海津特別支援学校の生徒としての自覚を持ち、挨拶・礼儀作法等に注意して自動車学校に通学する。

②保護者に多額の金銭的負担をかけることを忘れず、感謝の気持ちをもって、教習内容の履修に最後まで全力で取り組む。

7 免許取得後の運転に関する規定

卒業式前に運転免許を取得できた場合は、以下のように定める。

- (1) 学期中は、運転免許証を学校で管理する。
- (2) 長期休業中は、保護者の監督責任のもと、運転免許証を一時生徒(保護者)に返す。
- (3) 運転に際しては、保護者の責任のもとで行う。

8 規定の改正又は廃止の手続き

- (1) 連合児童生徒会役員は、児童生徒の意見を集約し、校長に対し、児童生徒心得の改正又は廃止を求めることができる。
- (2) 校長は前項の規定に基づく求めがあったとき、又は児童生徒心得の見直しが必要になったときは、アンケートその他適切な方法で児童生徒や保護者からの意見を聴取するとともに、学校運営協議会でその内容について議論するものとする。
- (3) 校長は、学校運営協議会等での議論を踏まえ、児童生徒心得の改正又は廃止について決定するものとする。
- (4) 前項の決定にあたっては、議論の経過及び決定理由について、児童生徒及び保護者に説明するものとする。

附 則

この規定は一部改正し、令和5年4月25日より適用・施行する。